

平成 23 年 3 月 17 日現在

東北関東大震災への全ク連の対応について(第一次)

標記大震災については、いまだ全容が判明していませんが、岩手県・宮城県・福島県を中心に甚大な被害を被っていることは間違いのない状況です。

こうしたことから、全国クリーニング生活衛生同業組合連合会(以下「全ク連」)では、当面の対応として別紙のとおり、対応策を取りまとめました。

なお、当対応策は平成 23 年 3 月 17 日現在でのもので、今後の情勢変化、実態掌握により追加措置等を講じていく方針であることを申し添えます。

記

1. 義援金の拠出依頼について

○1 組合員当たり 5,000 円を目標に義援金の拠出を求める。

※義援金は 4 月末までに各組合で取りまとめていただいた上で全ク連に送金していただき、その全額を被災組合に送金する(配分等は後日調整する)

○店頭募金箱設置等による義援金拠出の呼びかけ

※組合員店を中心に店頭で義援金募金箱を設置する。集まった浄財は日本赤十字社を通じて被災地に贈遺する。

なお本件については準備、対応方法が調整でき次第、改めて詳細を通知する。

2. 支援物資の調達・送付

対象地域が広範であり、また現段階では輸送手段もあまりないことから、当分の間は保留とし、現地からの要請等があった段階で改めて調整を行う。

また、利用者から衣類等を集めてクリーニング後に避難所等に送ることの可否について検討したが、行政機関等から同一の種類のもが各サイズ大量に揃ったものでない限り不要とのコメントがあったことから当面の対応は見送ることとした。

(ただし、都道府県単位で行政等から呼びかけがあったものについては、各組合等の判断で実行して差し支えない)

3. 預かり品の取り扱いについて(賠償免責告知ポスター)

阪神・淡路大震災後の大規模自然災害の際に配布している標記ポスターについては今回も作成し被災業者のみならず消費者団体等にも送付することについては決定したが、現段階では送付先も未定なので、当面は全ク連ホームページで告知するとともに、各自がプリントアウトして活用できるように対応することとした。

4. 情報の収集・発信の一元化等

今回の震災に関する情報が各方面から発せられているが、不要な情報、誤った情報等も多数見受けられることから、クリーニング業界の情報を全ク連ホームページに一元化する。

5. クリーニング業界の支援体制の一元化

上記1～4の対応については、クリーニング業界を挙げて対応できるよう、3月25日にクリーンライフ協会の緊急臨時理事会を開催し、コンセンサスを得た上で早期実行を図る。

6. 組合に対する賦課金の免除

○被害の大きかった岩手県・宮城県・福島県の3組合については、平成23年3月～5月までの3ヶ月間、全ク連賦課金を免除する。

7. 被災組合員に対する救済措置

○被害の大きかった岩手県・宮城県・福島県の3組合の被災者のうち、生命共済加入者の平成23年4～6月分の掛金は免除する。

※免除期間中の掛け金については全ク連生命共済準備金より負担する。

○同じく岩手県・宮城県・福島県の3組合の被災者のうち、火災共助加入者については、平成23年6月末日までに火災が発生した場合は、共助料の拠出を免除する。

※免除期間中に火災が発生した場合の拠出金については全ク連が準備金より負担する。

8. 全国クリーニング大会 in 郡山の中止

竹谷ブロック長より、開催地はもとより東北地方全域で被害が甚大な現状で、本年開催予定の標記郡山大会の開催は困難とも申し入れがあり、状況を踏まえて今年の全国クリーニング大会は開催を中止することとした。

なお、平成23年12月2～4日に開催予定のCLV21大阪展示会は予定通り開催する。